

## 序

目まぐるしく過ぎ去った昭和42年度。この一年間、わたくしたちは本県教育水準の向上に、どれだけ奉仕できたか謙虚に反省するとき、まことに感慨にたえないものがあります。

昭和42年度は、長期総合教育計画の趣旨を毎年度の教育行政に効果的に具現するために、年次ごとの実施計画を設定して、清純で近代的な教育環境の整備につとめるとともに、教育格差の是正と教育の質的向上をはかるため、6項目からなる努力目標をかかげて教育行政を推進してまいりました。

とくに、教職員の指導力の向上をめざしての諸研修

教育内容方法の近代化と教育諸条件の整備

勤労青少年のための教育の拡充

学校教育の機会均等を確保するための諸施策

芸術文化の振興と文化財保護の強化

学校保健管理の充実と安全教育の徹底

等にみられる成果は、市町村教育委員会をはじめ、教職員のみなさまの努力のたまものでありまして、極めて大きな実績をおさめたものと信じております。

この公的記録としての「教育年報」は、本県における昭和42年度の教育行政成果の全ぼうをとらえた報告書でありまして、教育委員会発足以来一貫した編集方針により継続刊行して今日にいたっております。

どうか、これを教育実践の場に備えられて、本県教育の推進のため、じゅうぶん活用されるとともに、残された課題の解決にあたられるようお願いいたします。

昭和43年 6月 1日

福島県教育委員会教育長 折 笠 与四郎